

平成29年度伝統音楽指導者研修会実施要項

1. 目 的

音楽を担当する指導主事等に対し，実技を中心とした研修をとおして，我が国の伝統音楽について学習指導要領の趣旨を踏まえた必要な技能等を習得させ，各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言が，受講者により行われることを目的とする。

2. 主 催

文部科学省

3. 共 催

国立大学法人東京芸術大学

4. 開催期日

平成29年8月2日（水）・3日（木）

5. 日 程

	9:30	10:00	10:40	12:30	13:30	15:30	15:50	17:00
第1日	受付	開 会 式	講 話	実技研修①	昼 食	実技研修②	休 憩	鑑賞研修

	9:00	9:20	11:45	12:30	13:30	15:30	15:50	16:30
第2日	受付	実技研修③	昼 食	実技 研修④	演奏発表 ※1	閉 会 式	協 議 会 ※2	

※1 「演奏発表」は，会場準備を含む。

※2 「協議会」は，閉会式後に希望者による参加とする。

6. 会 場

国立大学法人東京芸術大学（上野キャンパス）

〒110-8714 東京都台東区上野公園1-2番8号

TEL：050-5525-2313，050-5525-2316（演奏企画室）

7. 研修内容

（1）実技研修①～④（第1日及び第2日）：

「箏（山田流）」，「箏（生田流）」，「尺八（琴古流，都山流）」，「三味線〔長唄三味線〕」，
「邦楽囃子〔大鼓，小鼓，太鼓〕」，「邦楽囃子〔笛（篠笛）〕」，
「伝統的な歌唱〔長唄〕」，「伝統的な歌唱〔謡曲〕（観世流）」，
「伝統的な歌唱〔箏曲〕（山田流）」，「伝統的な歌唱〔箏曲〕（生田流）」
の各コース別に実技研修を行う。

- (2) 鑑賞研修（第1日）：
各コースの模範演奏の鑑賞を行う。
- (3) 演奏発表（第2日）：
実技研修の成果について、演奏発表を行う。
- (4) 協議会（第2日）：
研修の振り返りと今後の自身の講師等としての活動に向けた意見交換を行う。
（希望者による参加）

8. 参加者

(1) 参加対象者

①受講資格

- ・都道府県・指定都市教育委員会の指導主事等
- ・小学校、中学校、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の教諭等であって、各地域で本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動を行う予定のある者
- ・2日間の研修に参加できる者

②受講人数

- ・各都道府県・指定都市から3～6名程度
- ・実技研修の各コースの定員（予定）

コース名	定員	コース名	定員
「箏（山田流）」	50	「邦楽囃子〔笛（篠笛）〕」	20
「箏（生田流）」		「伝統的な歌唱〔長唄〕」	20
「尺八（琴古流，都山流）」	30	「伝統的な歌唱〔謡曲〕（観世流）」	20
「三味線〔長唄三味線〕」	50	「伝統的な歌唱〔箏曲〕（山田流）」	30
「邦楽囃子〔大鼓，小鼓，太鼓〕」	30	「伝統的な歌唱〔箏曲〕（生田流）」	

(2) 参加手続

各都道府県及び指定都市教育委員会は参加希望者を「参加希望者名簿」に取りまとめ、推薦順位を決定の上、平成29年6月5日（月）までに、初等中等教育局教育課程課宛て報告するものとする。（別紙1 「参加希望者の報告等について」参照）

(3) 成果の還元・普及

都道府県及び指定都市教育委員会においては、参加者の成果の普及の場を設けるよう努めるものとする。また、参加者は、様々な手段・方法により、積極的に本研修会における成果を域内の学校等に普及するよう努めるものとする。

9. 参加者の決定

- (1) 文部科学省は、研修参加者を決定し、6月下旬を目途に、都道府県及び指定都市教育委員会に対して、通知するものとする。
- (2) 研修参加希望者が多数の場合は、文部科学省で調整の上、決定・連絡する。
- (3) 研修参加者の実技研修のコースは希望を勘案し、調整の上、決定する。

10. 授業実践事例の提出

研修の参加決定を受けた者は、実践事例提出要領に基づき、伝統音楽の授業実践事例（小・中学校：音楽科，高等学校：芸術科に限る）を作成し，別途連絡する期日までに，都道府県及び指定都市教育委員会を通じて，初等中等教育局教育課程課教育課程第三係まで提出するものとする。

提出された資料は，本研修会の運営等の参考に資するとともに，我が国の伝統音楽に関する取組の一例として公表することがある。また，提出された資料は文部科学省において取りまとめ，参考資料として本研修会の参加者に配布する。

11. その他

- （１）本研修会は，実技研修を中心とするものであることを理解した上で受講すること。
- （２）本研修会の参加後，本研修会の成果をどのように各地域に還元したかについて，報告を求めることがある。
- （３）別紙１において報告された参加希望者の経験等に応じたクラス編成を行うが，当日の状況によりコースの変更があり得る。
- （４）宿泊が必要な場合は各自で準備するものとする。